

## 編集後記

令和4年度の石川県立看護大学年報が発刊の運びとなりました。今回は第23巻となります。

本学では令和4年度4月に真田弘美新学長をお迎えし、新体制がスタートしました。真田学長のリーダーシップのもと、大学の更なる発展のため教職員が一丸となり、教育、研究、地域貢献、大学運営に取り組んでおります。年報にはこれらの実績が記されています。

最近になって、令和4年度に巣立った学生が社会人一年目で活躍している様子を見聞きする機会がありました。「青春って、すごく密なので」\*に言い表される長引くコロナ禍で大学生活を送った彼女らは、様々な困難を乗り越え、卒業後、希望をもって立派に成長し、周囲の方に認められる存在となっていました。大学はどんな状況にあっても、その使命を果たすべく前向きに取り組むことが明るい未来へ繋がっていることを感じる出来事でした。

今回より、教員業績のページは領域・講座ごとの構成となりました。それぞれの特色や強みがこれまでより分かりやすくなったことと思います。学内外の方々にとって、教員の多方面の活躍を知る機会となり、コミュニケーションの一翼を担うこととなれば幸いです。

最後になりましたが、原稿作成にご尽力いただきました教職員の皆様に感謝申し上げます。また校正作業の効率化を図り、実質的な編集作業を一手に担った外主任主事および部会員の中嶋委員、額委員の労を労いたいと思います。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

\* 2022年のユーキャン新語・流行語大賞で選考委員特別賞に選ばれた言葉（仙台育英学園高等学校野球部須江監督）<https://www.jiyu.co.jp/singo/index.php?eid=00039>

自己点検評価委員会 年報編集部会長 金子紀子